

自己宣言や独自EMSに切り替えた自治体の方々へ、 「確認支援制度」をおすすめします。

「認証を返上し、自己宣言や独自EMSに切り替えたが何か客観的なよりどころが欲しい」「EMSの仕組み全体を審査するのではなく、見てほしいところだけに絞りたい」……。そうお考えの自治体には、通常の「評価・支援制度」の他に「確認支援制度」をご用意。是非ご利用ください。

「確認支援制度」とは・・・

申請があった時点でのEMSの構築状況や実行状況を確認し、改善提案を含めた第三者意見書を発行するものです。自己宣言や独自EMSに切り替えた自治体の取り組みに客観性を持たせます。

〈特徴1〉

確認したいシステム項目を選択できます。

EMSの仕組み全体ではなく、たとえば目標管理プロセス、法令順守プロセスなど、確認したいシステム項目を自由に選択できます。

〈特徴2〉

第三者意見が受けられます。

第三者評価委員会で客観的な意見書が発行され、地域住民・事業者等に対して説明責任を果たすことができます。

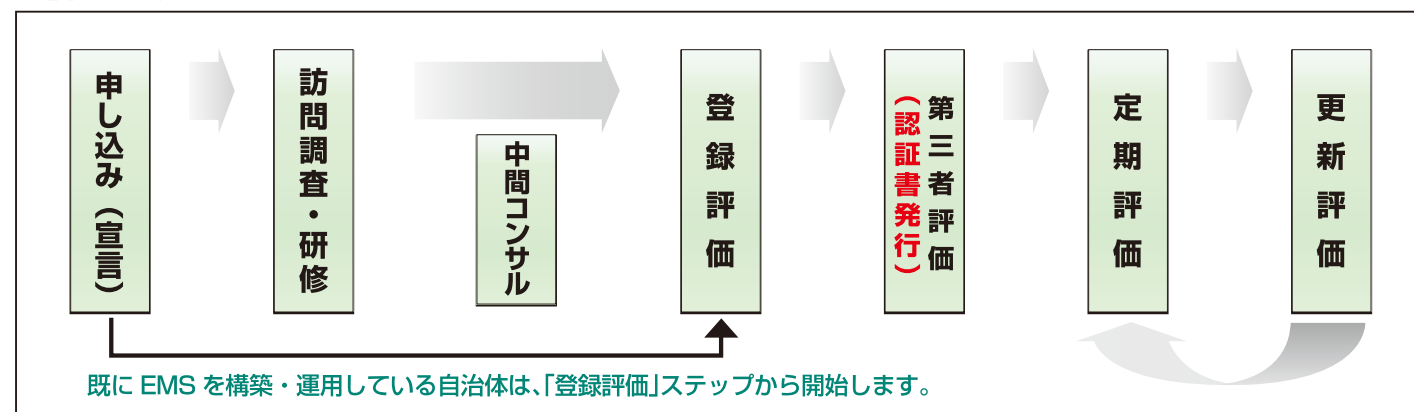
〈特徴3〉

希望する時期にいつでも受けられます。

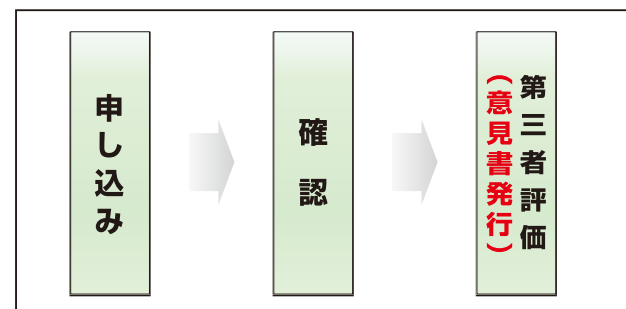
「評価・支援制度」のように定期的に審査(評価)するのではなく、申請の都度、その時点の取り組み状況を確認するため、いつでも希望する時期に受けることができます。

申し込み後のステップ

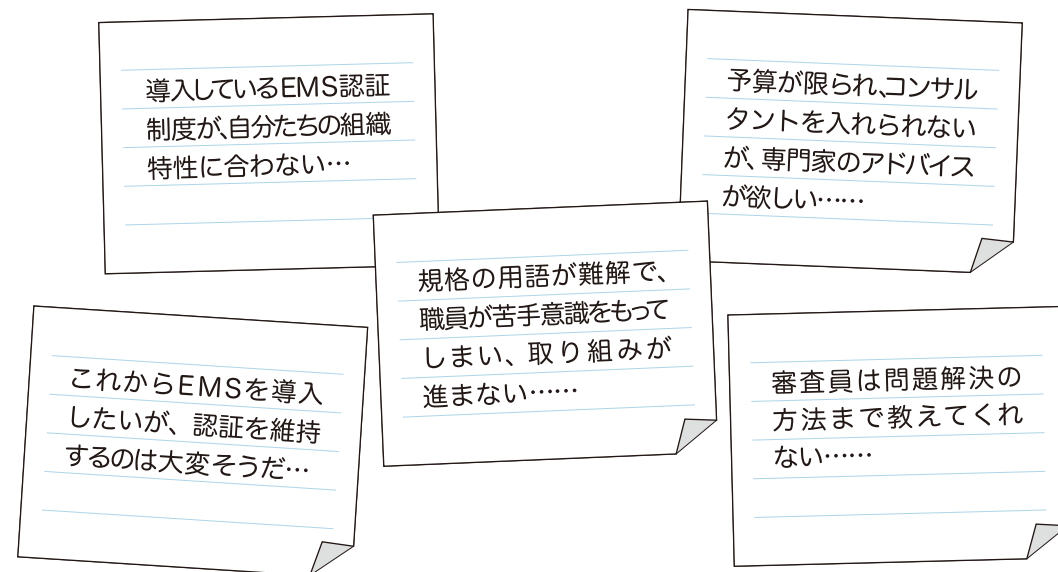
評価・支援制度



確認支援制度



EMS推進の取り組みに、 不安や不満はありませんか？



自治体エコステージなら、こんな不安や不満をまるごと解決。自治体組織の実情に合わせた認証制度で、他の認証制度からの移行もスムーズです。

*EMS＝環境マネジメントシステム

自治体のためのEMSを実現、 実効性ある取り組みを支援します。

自治体エコステージは、“自治体らしいEMS”の実現を目指し、自治体専用のEMS規格を提供し、その認証を行う制度です。自治体の導入しやすさ、職員の取り組みやすさに配慮し、自治体の実情に合わせたEMSの規格や用語、認証プロセスで構成。しかも、アドバイスや改善提案まで受けることができます。自治体エコステージが、これからのEMSの推進をお手伝いしていきます。



特徴

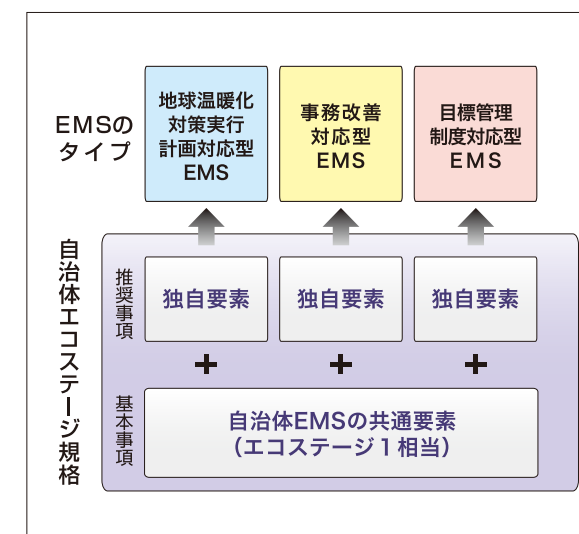
1 自治体の組織運営に合わせた仕組みです。

自治体エコステージは、自治体固有の行政手続きや行政計画との整合性を高め、自治体職員が理解しやすく、馴染みやすい仕組みです。

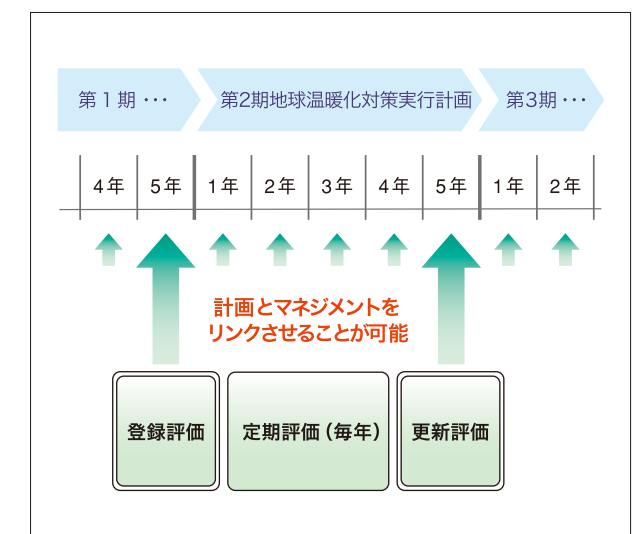
2 自治体自ら認証方法を選択できます。

自治体エコステージは、EMSの適用範囲やEMSのタイプ別規格、認証の有効期間などを目的に合わせて自ら選択することができます。また、「確認支援制度」(詳しくは裏面)を設け、自己宣言や独自EMSに切り替えた自治体にも対応した柔軟な制度になっています。

■EMSのタイプに合わせて選択できる規格



■行政計画に合わせて変えられる更新期間



メリット

1 職員が取り組みやすいEMSが構築できます。

EMS認証制度にありがちな「用語の難解さ」「審査による拘束時間」等を軽減し、職員にかかる負担を抑え、自治体全体でのEMSの取り組みを推進します。

2 事務事業と一体となったEMS推進で、効果を最大限に引き出せます。

自治体固有の行政手続きや行政計画に合わせ、事務事業と一体となったEMSを推進。運用しやすく、その効果を最大限に発揮できます。

3 認証の受審時にアドバイスや改善提案を受けられ、的確な改善を行えます。

EMSの構築を支援する評価員が、そのまま認証のための審査(評価)も担当するほか、問題点の指摘だけでなく、問題解決のためのアドバイスや改善提案も実施。EMSの改善にスムーズに着手できます。